

# 実り多き年となることを願って

校長 木和田 美佐

新年あけましておめでとうございます。保護者・地域の皆様方には昨年中も温かい御理解と御支援・御協力を賜りましたことに心から感謝申し上げます。創立50周年の年、ということで、様々な周年行事をとおして、活気溢れた日々を過ごすことができました。



さて、例年、年末に京都の清水寺で発表される日本漢字検定協会主催「2025年 今年の漢字」では、令和7年の漢字は「熊」が第1位ということでした。これは、全国各地で熊による被害が相次ぎ、私たちの生活や経済活動に深刻な影響を及ぼした、ということが理由ということです。毎日のように各地から届く熊被害のニュースは、まだ記憶に新しく、痛ましいものです。「熊」に続き第2位は「米」ということで、これも値上がりする米の価格に一喜一憂する日々が続いたことによるものです。この「今年の漢字」は、1995年「阪神淡路大震災」があった年から実施されており、昨年で30年目を迎え、年末の風物詩となっていると言っても過言ではないでしょう。そこで、在学する1～3年生が生まれた年は、どのような漢字が選ばれていたのか調べてみました。3年生が生まれた2010年の漢字は「暑」でした。この年は猛暑の連続で、熱中症で倒れる人が続出し、農作物にも甚大な被害が及んだ年でした。また、チリの鉱山で、地下700メートルの暑い環境の中、作業員33人が閉じ込められ、70日目に全員生還する、というニュースがあった年でもありました。2年生が生まれた2011年は、3月11日に東日本大震災が起きた年です。甚大な被害があったこの年の漢字は「絆」でした。多くの人が、人とのつながりの大切さを改めて実感した年となりました。そして、1年生が生まれた2012年の漢字は、一昨年と同じ「金」でした。この年は932年ぶりの金環日食、ロンドンオリンピックで日本史上最多の38個の金メダル、山中教授のiPS細胞の研究でノーベル賞の受賞というニュースがありました。このように見ていくと、毎年世界中で様々なできごとがあり、日々平穏に過ごすことがいかに有難いものであるかを実感します。改めて令和8年が災害や事件・事故のない、穏やかで実りある日々になることを願ってやみません。

さて、話は変わりますが、今年は「午年」ということで、「馬が駆ける姿のように、活発で行動力にあふれる前向きに進む年」とされています。新しいことに挑戦する年、エネルギーに満ちる年、努力の成果が結びやすい縁起の良い年だそうです。希望に満ちたスタートになりそうです。本年も教職員一同、一丸となって教育活動に取り組んでいく所存でございます。何卒よろしくお願いいたします。

皆さまにとっても、今年一年が良い年でありますように。

## 「さいたま市コミュニティスクール シンポジウム」のお知らせ

日時：令和8年1月30日(金)

開場：午後1時30分 開会：午後2時

会場： RaiBoC Hall 大ホール

こんなコミスクあったらいいな ～地域の未来をつくるコミュニティ スクール～  
ぜひ ご参加ください。(事前申込が必要です。入場無料)

問い合わせ さいたま市教育委員会事務局 生涯学習振興課 電話 829-1703